

令和6年度 樹木と緑化の総合技術講座

開催日

○前期講座（WEB 配信方式）

令和6年6月1日(土)～7月15日(月)
(期間中繰り返し視聴可能)

○後期講座（対面方式）

令和6年9月3日(火)～9月6日(金)

主催

○一般財団法人 日本緑化センター

後援

○公益社団法人 日本造園学会

○樹木医学会

○一般社団法人 日本植木協会

○一般社団法人 日本樹木医会

○一般社団法人 日本造園組合連合会

○一般社団法人 日本造園建設業協会

○一般財団法人 日本造園修景協会

○一般社団法人 ランドスケープコンサルタンツ協会

こんな方におすすめします

樹木や緑化など
みどりに関心
のある方

企業や行政の
新人研修の場
を探している方

専門技術者で
もう一度基礎
から学びたい方

樹木医試験など
資格取得に
挑戦したい方

■受講者の声

- 有名講師の先生方の講義を繰り返し視聴することができて本当によかった。
- 基礎知識から最近のタイムリーな問題まで幅広く学べてよかった。
- 難しい講座かもしれないと心配だったが、わかりやすく楽しい説明だったので、とても勉強になった。
- 樹木や草花について幅広く色々な事が学べて楽しかった。
- 全体を通して最新の知見に基づいた講義が多く、とても有益であった。書籍の販売も充実していて、受講者に対しての配慮が細部になされていた。
- 造園の立場、樹木医としての立場、研究者としての立場など、それぞれの立場からの話を聞くことができ、自分ももっと勉強して高い専門性を身に付けたいと思った。受講を勧めてくれた会社の計らいに感謝している。
- 「樹木医の手引き」を執筆されている先生が担当された講座もあり、知識の定着として非常に有意義であった。
- お話はどれも興味深く面白かったが、動画の収録時間が短い先生もいて、もっとたくさんお話を聞いていたかった。
- 今回受けた講義をもう一度整理し、今後の仕事に生かせるようにしていきたいと思った。
- 現場を点検する際に見るべき所や、植栽時の留意点についても学ぶことができ、非常に勉強になった。
- 樹木に現れた病徴が、生理的なメカニズムの面からもわかるようになり、体系的に学べるよい機会となった。仕事を進める上でも大きな手助けになると思う。
- 様々な職種の方がそれぞれの目的を持って受講しており、いい意味で刺激を受けた。



この講座は造園 CPD・樹木医 CPD の認定プログラムです（申請中）。
講座内容は当センターホームページでご覧いただけます。

https://www.jpgreen.or.jp/event/jyumoku_ryokka/index.html

《はじめに》

近年、社会環境が激しく変動する中で、求められる森林・緑地の役割も、地域環境の改善や生活空間の改善、景観アメニティの向上などの身近な視点で考えるものから、地球環境保全や生物多様性保全、防災力の強化などのよりスケールの大きな視点で取り組むべきものまで多様化しています。

このように多様化されたニーズに対応していくためには、樹木に関わる科学的知識と緑化に関する最新の知見に基づいた総合的な学習の場が求められています。

本講座は、樹木と緑化などのみどりに深く係わる様々な主体の皆様を対象として、一般の方にもわかりやすいカリキュラムで構成し、緑化事業の適正な実践のための基礎が学べるものとしてスタートし、今年で25回目を迎えます。

本講座では、樹木の生態から緑化技術、維持管理技術など、樹木と緑化に関わる基礎知識を修得するとともに、樹木の生態や構造、維持管理の必要性を理解し、現場での様々な課題を解決するための手法をトータルで学ぶことができます。

是非、みどりに関心のある方はもちろん、行政担当者の新人研修や専門技術者の基礎の見直しの場としてご活用いただきますよう、ご案内申し上げます。

皆様のご参加をお待ちしております。

1. 開催日時・場所

本講座は前期と後期に分けて開催いたします。

(1) 前期講座 (WEB 配信方式)

1) 配信期間：令和6年6月1日(土)～7月15日(月)

2) 場 所：WEB 配信

(ライブ配信ではありません。ご都合のよい時間に繰り返し視聴できます)

(2) 後期講座 (対面方式)

1) 期 間：令和6年9月3日(火)～9月6日(金)

2) 場 所：ホテルマークワンつくば研究学園 リベラホール

(〒305-0817 茨城県つくば市研究学園 5-13-5 TEL.029-875-7272)

(有)古平園 (〒300-3262 茨城県つくば市蓮沼 10)

国立科学博物館 筑波実験植物園 (〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1)

つくば市研究学園駅前公園 (〒305-0818 茨城県つくば市学園南 2-1)

2. 受講料 (税込) 《前期》11,000 円/コース、《後期》16,000 円/日、8 日間受講・1 割引

※ 受講料は原則として前払いです。

※ テキスト代を含みます。

※ 宿泊費・交通費は含みません。

※ 受講は1日単位 (前期は1コースを1日とします) です。科目単位での受講はできません。

※ 同一会社内複数同時のお申し込みで合計8日間 (以上) の参加については1割引となります (例えば、社員 A が3日間受講、社員 B が5日間受講などのケース)。

(詳しくはお問い合わせください。賛助会員割引との併用はできません。)

※ 日本緑化センター賛助会員の受講料は上記受講料の2割引です。ご自身で日本緑化センター賛助会員についてご確認のうえ (<https://www.jpgreen.or.jp/gaiyou/sanjo.html>)、賛助会員の方は受講申込書に法人名を記入してください。(8日以上参加割引との併用はできません。)

※ 後期昼食代金は受講料に含まれます。ただし、昼食を希望しない場合の返金はしません。

3. 「自然再生技術研修会」として位置づけ (<https://www.jpgreen.or.jp/saiseishi/p07.html#houhou2>)

この講座は「自然再生士登録更新対象講座」として位置付けています。前期4コースのうちいずれか2コース以上を受講すると、自然再生士登録更新要件となります。

対象者は自然再生士9期2090番～11期2463番、有効期限2027年3月31日までの自然再生士（失効者を含む）です。自然再生士更新対象の皆様へ「令和6年度自然再生技術研修会 修了証」を発行しますので、受講申込書に自然再生士登録番号をご記入ください。更新時期については修了証・備考欄をご覧ください。自然再生士登録更新には別途申請手続きが必要です。

4. 「緑サポーター養成研修」として位置づけ (<https://www.jpgreen.or.jp/supporter/index.html>)

この講座は「緑サポーター養成研修」として位置付けています。本講座を6日以上受講し、規定の登録申請書の提出および登録料を納付すると「緑サポーター」として登録します。

「緑サポーター」とは、樹木医の指導の下で緑の保全に関する相談、指導等の補助的な活動を行う者です。平成11年から開始され、令和6年3月1日現在1,501名（登録者）が緑サポーターとして登録され、そのうち22名が樹木医となり活躍しています。

「緑サポーター」に登録後、樹木医の指導の下で年間30日間活動を行うと樹木医研修受講者選抜試験の一年分の実務経験となります。緑化関係以外の職業の方も樹木医試験にチャレンジし樹木医になる道が開けます。ただし、日本緑化センターは樹木医の斡旋はしておりませんので、ご指導いただく樹木医はご自身でお探しいただきます。

5. 定員 《前期》定員なし、《後期》40名/日

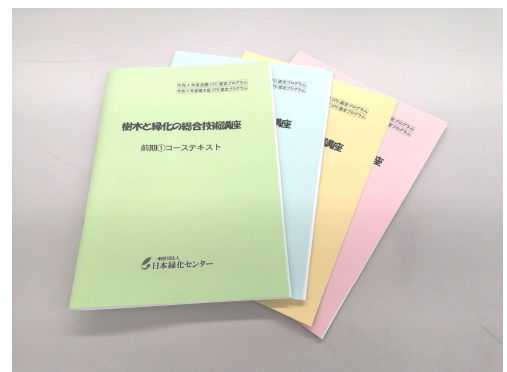
6. 宿泊 《後期》講座に参加される方は、各自、最寄りのホテル等をご利用下さい。

7. 参加申込み

参加ご希望の方は「受講申込書」に所定の事項をご記入の上、《前期》令和6年7月5日（金）まで、《後期》令和6年8月20日（火）までに、FAX または郵便またはメールにてお申し込み下さい。後期につきましては定員になり次第締め切ります。

8. 前期講座テキストおよび URL の送付について

受講料の入金確認後、令和6年5月29日（水）以降にテキストをご指定のご住所へレターパックライトで郵送、配信 URL をメール送信します。（送付先の住所及びメールアドレスは、間違いが無いように、わかりやすい文字で、大きく丁寧をお願いします。）



9. 受講のキャンセルについて

受講を事前キャンセル（キャンセル締切：《前期》令和6年5月27日、《後期》令和6年8月27日）された場合は受講料をお返しいたします。ただし、受講通知発送等事務手数料（2,000円（税込）・資料印刷代を含む）および返金のための振込手数料（実費）をご負担いただきます。

10. 申込み・問合せ先

一般財団法人日本緑化センター緑化事業部（講座担当：小田川）

〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町 1-2-29 K,I,H ビル 2F

TEL:03-6457-5218（講座）／FAX：03-6457-5219／Email：sougouk@jpgreen.or.jp

令和6年度（2024）樹木と緑化の総合技術講座スケジュール

《前期》WEB配信方式

以下の4つのコースの内、ご自身の目的に合わせて講座を選択してください。

WEB配信（配信期間中は繰り返し視聴可能です）

植物の基礎学習コース		①-1 (104分)	①-2 (93分)	①-3 (73分)	①-4 (127分)
コ	◎	植物の生育環境とその分布	植物の構造と生理生態	植物の特徴とその取扱い特性	樹形の意味
リ	◎	濱野 周泰	福田 健二	金澤 弓子	堀 大才
ス	△	元東京農業大学教授	東京大学大学院 農学生命科学研究科 教授	東京農業大学 造園科学科 准教授	
①	○	資格取得			

造園設計学習コース		②-1 (75分)	②-2 (86分)	②-3 (91分)	②-4 (125分)
コ	△	「造園植栽」に不可欠な一貫性	土壌の基礎知識と植栽基盤	植栽工事に係る基本的な考え方と	樹木管理に係る基本的な考え方
リ	△	ー設計～監理～マネージメントー	としての望ましいあり方	配植・植え付けのポイント	と育成・維持管理
ス	◎	山本 紀久	水庭 千鶴子	山下 得男	内田 均
②	◎	(株)愛植物設計事務所 会長	東京農業大学造園科学科 教授	株式会社富士植木	元東京農業大学地域創成科学科 教授

芝・草花の基礎学習コース		③-1 (129分)	③-2 (71分)	③-3 (62分)	③-4 (84分)
コ	◎	芝及び地被植物の基礎知識と	草本植栽の基礎知識	野生の草花と里山の再生	農薬の取り扱い方法の基礎知識
リ	◎	育成・維持管理	～気候変動に対応するために～	麻生 嘉	相川 宏史
ス	○	高橋 新平	奥 峰子	(一財)日本緑化センター 主任研究員	株式会社ニッソングリーン
③	△	東京農業大学造園科学科 教授	(有)ホリーホックガーデン代表		開発・海外マーケティング 部長

公園・緑地管理学習コース		④-1 (88分)	④-2 (103分)	④-3 (88分)	④-4 (95分)
コ	△	緑化樹木の腐朽病害	樹木の病害の基礎知識	樹木の虫害の基礎知識	樹木のリスク管理の現状と課題
リ	△	服部 力	金子 繁	北島 博	細野 哲史
ス	◎	(国研)森林研究・整備機構 森林総合研究所 研究ディレクター	元(独)森林総合研究所 関西支所長	(国研)森林研究・整備機構 森林総合研究所 企画部研究企画科科長補佐	(一社)地域緑化技術普及協会代表
④	◎	資格取得			

- …樹木や緑化など、漠然とみどりに関心のある方におすすめです。まずは植物の基礎を学んでみてはいかがでしょうか。
- …企業や行政の新人研修の場を探している担当者におすすめです。ここまでみどりについて網羅された講座はなかなかありません。
- …専門技術者で、もう一度基礎から学びたい方におすすめです。部下に立派な背中を見せるためにも、振り返りの時間は必要です。
- …樹木医試験等の資格取得に挑戦したい方におすすめです。書籍だけでは得られない知識をWEBでおさえましょう。

◎	みどりに関心
◎	新人研修
◎	専門技術者
◎	資格取得

【前期 (WEB 配信方式)】 講座概要

	講義科目・講師名	講義のポイント	受講者の声 (参考)
コース①・植物の基礎学習コース	○植物の生育環境とその分布 濱野 周泰 元東京農業大学教授	植物の生育に係る環境要因を確認するとともに、植物の自然分布や植栽分布について解説する。	○環境や気候区分と植物の生育について、非常に分かりやすい語り口で解説されるので、とてもわかりやすかった。
	○植物の構造と生理生態 福田 健二 東京大学農学生命科学研究科教授	植物を構成する各エレメントの構造を確認するとともに、植物の生長の仕組みを解説する。	○植物の生理生態から光合成のメカニズムまで、非常に高度な内容だったが、話がおもしろく引き込まれ、かなり興味が出た。
	○樹木の特徴とその取扱い特性 NEW 金澤 弓子 東京農業大学造園科学科准教授	植物としての樹木の特徴と植栽や管理するうえでの特性について、都市の代表的な樹種を通して解説する。	○樹木とは何か、生物学的にどのような位置付けにあるのか、その基本的な知識が丁寧な語り口で解説され、理解が深まった。
	○樹形の意味 堀 大才	樹木は立地環境に適応するため状態を変え、樹形となって表れる。樹形の意味を読み取ることで、樹木の活力診断や危険度診断を行う方法について解説する。	○樹木の診断のベースとして、カルテや診断フォームによるものではなく、むしろ樹木の形の意味を読み解くことが重要で、その基本的な見方を理解することができた。
コース②・造園設計学習コース	○「造園植栽」に不可欠な一貫性-設計～監理～マネジメント- 山本 紀久 ㈱愛植物設計事務所 会長	植物の配植設計に係る基本的事項を解説するとともに、植栽工事における設計監理のポイントを解説する。	○書籍「造園植栽術」をベースとして、その重要なポイントを絞って構成されており、ランドスケープアーキテクトとして必ず押さえるべき基本を学ぶことができた。
	○土壌の基礎知識と植栽基盤としての望ましいあり方 NEW 水庭 千鶴子 東京農業大学造園科学科 教授	土壌学の基礎や植物との係わりを確認するとともに、植栽基盤としての望ましいあり方(物理性・化学性)を解説する。	○土壌の基礎知識はもちろん、樹木の植栽基盤としての土壌とは何か?また、その状態を評価するための調査方法まで学べたのがよかった。
	○植栽工事に係る基本的考え方と配植・植え付けのポイント 山下 得男 ㈱富士植木コミュニティ・ビジネス推進部長	植栽工事を実施する際に留意すべきポイントについて、現場からの視点でその技術や創意工夫について解説する。	○実際の現場で行われる植栽工事や移植工事に馴染みがなかったため、造園の世界で培われてきた技術力や受け継がれてきた創意工夫に驚いた。
	○樹木管理に係る基本的考え方と育成・維持管理 内田 均 元東京農業大学地域環境科学部教授	植物の管理を行っていくための基本的考え方を確認するとともに、育成管理・維持管理に係る留意事項を解説する。	○樹木の管理、特に剪定についての様々な事例と、街路樹における塗布剤や支柱のあり方に至るまで、様々な根拠に基づき解説され、目から鱗の講義であった。
コース③・芝・草花の基礎学習コース	○芝及び地被植物の基礎知識と育成・維持管理 高橋 新平 東京農業大学造園科学科教授	芝草及び地被植物の特性を確認するとともに、現場での事例を踏まえ、育成管理等に係る留意事項を解説する。	○芝についての知識に乏しかったので手頃な講義を探していたが、芝の様々な品種の紹介からその維持管理方法までが解説されており、とてもよかった。
	○草本植栽の基礎知識-東京都内の公園に学ぶ 奥 峰子 ㈲ホリーホックガーデン代表取締役	草花植物の特性を確認するとともに、様々な公園で行われた植栽の実績を例に、花壇の植栽・管理に係る留意事項を解説する。	○先生の軟らかな語り口で草花の魅力が存分に紹介され、実際にこの講義で紹介された庭園や公園に行ってみたくなった。たぶん見る目が変わると思う。
	○野生の草花と里山の再生 麻生 嘉 (一財)日本緑化センター	野生の草花の特性を確認するとともに、過去に関わった多様性豊かな里山環境を再生するためのポイントを解説する。	○主に里山と草地管理に主眼が置かれ、非常にマニアックな内容ではあるが、自分のように山の植物が好きな人間にとっては非常に楽しい講義だった。
	○農薬の取り扱い方法の基礎知識 相川 宏史 NEW ㈱ニッソーグリーン 開発・海外マーケティング 部長	樹木を対象とした農薬の安全・的確な取り扱い方、農薬登録情報データベースの役割と利用方法、総合防除(IPM)の基本的な考え方について解説する。	○農薬は造園業者であれば避けて通れない分野であるが、その概要を理解する意味では、この講座は最新の知見を学べるので、現場レベルで非常に役に立った。
コース④・公園・緑地管理コース	○緑化樹木の腐朽病害 NEW 服部 力 森林総合研究所研究ディレクター	樹木の倒木等の大きな原因のひとつである木材腐朽病害について、そのメカニズムや見分け方、その対策等について解説する。	○代表的な腐朽病害について、そのメカニズムや特徴を詳しく学べたので、やっとクライアントに倒木のリスクや必要な対策について、正しく説明することができると思う。
	○樹木の病害の基礎知識 金子 繁 元森林総合研究所関西支所長	樹木等に害を与える主な病原の特性と生育への影響と、その対策について解説する。	○樹木の病害は資料を読んでも頭に入っていなかったが、講義で系統立てて解説されていたため、やっと知識として定着した。
	○樹木の虫害の基礎知識 北島 博 森林総合研究所 企画部研究企画科科長補佐	樹木等に害を与える主な虫害の特性と生育への影響と、その対策について解説する。	○樹木の虫害は苦手とする分野の一つで、そもそも虫がいないと判別できなかったが、虫がいなくても発生時期やフラスの特徴、脱出口の大きさなどから、ある程度想定できる事に驚いた。
	○樹木のリスク管理の現状と課題 細野 哲央 一社地域緑花技術普及協会代表	樹木の安全管理をとりまく現状、例えば倒木事故等の問題点や課題について、実際の事例をもとに解説する。	○樹木の倒木は社会問題になっており、それが裁判沙汰になっているケースも多いので、行政担当者として、これまでの訴訟事例をきちんと理解しておくことはとても重要である。

※講師及び内容について一部変更することがあります。

令和6年度（2024）樹木と緑化の総合技術講座スケジュール

《後期》対面方式

以下の4日間の現地実習の内、ご自身の目的に合わせて講座を選択してください。
 基本的な造園施工の技術・ノウハウ・きめ細かさを体感する（体験して経験する）ことができます。

時刻 月日	8		9		10		11		12		13		14		15		16		17								
	15	50	0	30	0	30	0	15	45	0	30	0	15	30	0	30	0	30									
9月3日 (火)	受付・注意事項説明																										
	9:00～11:00 都市樹木の点検の実際 細野 哲央 (一社) 地域緑化技術普及協会代表 場所：マークワフンつくば				9:00～10:10 樹木の病害診断と対策・座学 金子 繁 (元)森林総合研究所関西支所長 場所：マークワフンつくば				10:20～11:30 樹木の虫害診断と対策・座学 北島 博 (国)森林研究・整備機構 森林総合研究所 企画部研究企画科科長補佐 場所：マークワフンつくば				11:15～12:45 植栽基盤の調べ方(座学) ～現状の把握と改善方法～ 牧 隆 (ダイトウテクノソリューション株式会社顧問) 場所：マークワフンつくば				12:50～16:00 樹木の病害診断と対策・実習 金子 繁 樹木の虫害診断と対策・実習 北島 博 2班に分かれ2回同時開催 場所：筑波実験植物園				14:00～16:30 (実習)～長谷川式等調査器具の使い方がわかる～ 川九 邦雄 (有)テラパックス・テクニカ代表取締役 場所：(有)古平園 圃場				～17:00 質疑 応答		全 員 バ ス 移 動
9月4日 (水)	受付・注意事項説明																										
	9:00～10:10 樹木の病害診断と対策・座学 金子 繁 (元)森林総合研究所関西支所長 場所：マークワフンつくば				10:20～11:30 樹木の虫害診断と対策・座学 北島 博 (国)森林研究・整備機構 森林総合研究所 企画部研究企画科科長補佐 場所：マークワフンつくば				11:15～12:45 植栽基盤の調べ方(座学) ～現状の把握と改善方法～ 牧 隆 (ダイトウテクノソリューション株式会社顧問) 場所：マークワフンつくば				12:50～16:00 樹木の病害診断と対策・実習 金子 繁 樹木の虫害診断と対策・実習 北島 博 2班に分かれ2回同時開催 場所：筑波実験植物園				14:00～16:30 (実習)～長谷川式等調査器具の使い方がわかる～ 川九 邦雄 (有)テラパックス・テクニカ代表取締役 場所：(有)古平園 圃場				～17:00 質疑 応答		全 員 バ ス 移 動				
9月5日 (木)	受付・注意事項説明																										
	9:00～10:10 樹木の病害診断と対策・座学 金子 繁 (元)森林総合研究所関西支所長 場所：マークワフンつくば				10:20～11:30 樹木の虫害診断と対策・座学 北島 博 (国)森林研究・整備機構 森林総合研究所 企画部研究企画科科長補佐 場所：マークワフンつくば				11:15～12:45 植栽基盤の調べ方(座学) ～現状の把握と改善方法～ 牧 隆 (ダイトウテクノソリューション株式会社顧問) 場所：マークワフンつくば				12:50～16:00 樹木の病害診断と対策・実習 金子 繁 樹木の虫害診断と対策・実習 北島 博 2班に分かれ2回同時開催 場所：筑波実験植物園				14:00～16:30 (実習)～長谷川式等調査器具の使い方がわかる～ 川九 邦雄 (有)テラパックス・テクニカ代表取締役 場所：(有)古平園 圃場				～17:00 質疑 応答		全 員 バ ス 移 動				
9月6日 (金)	受付・注意事項説明																										
	9:00～10:10 樹木の病害診断と対策・座学 金子 繁 (元)森林総合研究所関西支所長 場所：マークワフンつくば				10:20～11:30 樹木の虫害診断と対策・座学 北島 博 (国)森林研究・整備機構 森林総合研究所 企画部研究企画科科長補佐 場所：マークワフンつくば				11:15～12:45 植栽基盤の調べ方(座学) ～現状の把握と改善方法～ 牧 隆 (ダイトウテクノソリューション株式会社顧問) 場所：マークワフンつくば				12:50～16:00 樹木の病害診断と対策・実習 金子 繁 樹木の虫害診断と対策・実習 北島 博 2班に分かれ2回同時開催 場所：筑波実験植物園				14:00～16:30 (実習)～長谷川式等調査器具の使い方がわかる～ 川九 邦雄 (有)テラパックス・テクニカ代表取締役 場所：(有)古平園 圃場				～17:00 質疑 応答		全 員 バ ス 移 動				

※講師及び場所については当日一部変更する場合があります。

【後期（対面方式）】講座概要

	講義科目・講師名	講義のポイント	受講者の声（参考）
9/3 火	都市樹木の点検の実際 細野 哲央 (一社)地域緑花技術普及協会 代表	樹木等の安全管理をとりまく現状の問題点や改善策について、事例に基づき具体的に解説する。	○樹木の点検の重要性を痛感した。 ○行政として、樹木を悪者にしたくないので、定期的な点検の実践がいかに重要かを理解できた。
	植栽基盤の調べ方 (座学) 現状の把握と改善方法 牧 隆 ダイトウテクノグリーン(株) 顧問	緑化植物の生育を大きく左右する植栽基盤整備の設計・施工・管理について、具体的なデータと実例をもとに、各事業段階で必要な調査のポイント、進め方についてわかりやすく解説する。	○長谷川式土壌貫入計、長谷川式透水試験器、山中式土壌高度計など、測定機器の一連の使用方法について体験できた。 ○はじめて測定機器に触れることができてよかった。植栽基盤の重要性を改めて認識できた。
	(実習) 長谷川式等調査器具の使い方がわかる 川九 邦雄 (有)テラボックス・テクニカ 代表取締役	午後の部では、野外において各種の調査機器の使用方法和手順、使用時の留意事項を解説するとともに、そこで得られた調査データの解析を行う。	
9/4 水	樹木の病害診断と対策 金子 繁 元森林総合研究所関西支所長	実習を通じて、緑化木に発生する病害の病原とその生態や、その防除対策などを解説する。実際に樹木の葉、枝、幹、根に表れる病斑や病徴を見学する。	○最初に標本を使った講義を受けた後、実験植物園に行ったのがよかった。 ○木の葉や幹、枝に発生する様々な病徴を、葉の斑点や色、幹や枝の異常(腐朽・瘤)などを直接見ながら、観察する部位や場所、診断ポイントなどを学ぶことができた。
	樹木の虫害診断と対策 北島 博 (国研)森林研究・整備機構 森林総合研究所 企画部研究企画科 科長補佐	緑化木に発生する虫害の見分け方と診断のポイント、その対策などを解説する。木の葉や幹、土の中などに産み付けられた虫の卵、幼虫や蛹、食害痕などを直接観察し、その特徴を解説する。	○木の葉や幹、土の中などに産み付けられた虫の卵、幼虫や蛹、食害痕などを直接見ながら、観察する部位や場所、診断ポイントなどを学べたのがとても勉強になった。 ○発生時期、穿入孔、フラス、脱出口の経常から、昆虫を想定するのが探偵みたいでおもしろかった。
9/5 木	樹木剪定の実際 古平 貞夫 (有)古平園 代表	各種の剪定の手法について、実演を通して解説するとともに、実際に受講者がその一部を体験する。例えば、基本剪定では、冬期剪定や、基本樹形の骨格枝を作る手法を学ぶ。また、軽剪定や夏期剪定など、樹幹の乱れや混み過ぎを直すための剪定手法を学ぶ。常緑樹や落葉樹の特性を活かした剪定手法を実演し、剪定の留意点を解説する。	○はじめて脚立に登り、剪定鋏を使ったので緊張したが、講師の指導で安全にこなす事ができた。 ○剪定によって樹木の印象が大きく変わることにびっくりした。
	樹木移植の実際 山下 得男 (株)富士植木 コミュニティービジネス推進部長	各種の高木移植の手法について、実演を通して解説するとともに、実際に受講者がその一部を体験する。例えば、根回しと掘取については、根回しは鉢径の決め方、断根法、林試移植法の手順を学ぶ。掘取については、掘り下げ、整根、枝抜きの手順を学ぶ。併せて、昨年実施した林試移植法による根回しの一年後の発根状況を確認する。	○断根法でも大量に発根していたのでびっくりした。 ○剥皮部の根元側から集中的に発根しているのが、教科書のイラストと同じで感動した(造園コンサル)。 ○思ったよりも形成層が堅いのに驚いた。木部を傷つけずに取り除くのが難しかった。
9/6 金	樹木診断実習 多田 亨 (有)緑汎 代表	樹木の健康度・衰退度・危険度の決め手となる診断項目毎の判定要領、カルテの作成方法、総合判定の考え方と手順について実習を通して解説する。受講者はグループに分かれ、樹木診断を実施する。その結果をグループ毎に整理し、診断結果を発表する。その後、発表内容について講師の見解を踏まえ、受講者全員で意見交換を行う。	○診断した経験がないので不安だったが、グループに樹木医さんがいたので安心した。 ○わからないところは講師にその都度質問することができてよかった。 ○診断結果の発表は緊張したが、自分の班はみんなで分担して項目毎に発表したのがよかった。また講師のアドバイスは、診るべきポイントが適切でためになった。

※講師及び内容について一部変更することがあります。

令和6年度 樹木と緑化の総合技術講座 **受講申込書** (申込期限：前期 7/5・後期 8/20迄)

【前期講座 (WEB方式) 留意事項】 ▼必ずお読みください。

- ① 前期講座はWEB配信方式の講習会です。WEB上で動画を視聴できる方のみを対象としています。
- ② 配信期間はR06/6/1(土)~7/15(月)です。配信期間中はご都合の良い時間帯で繰り返し視聴可能です。
- ③ 配信URLは、5/29以降(ご入金確認後)にメール送信します(併せてテキスト送付時にも同封します)。
- ④ 配信URL送信後のキャンセルはできません。受講料の領収書は希望者へテキスト送付時に同封します。
- ⑤ 社内で複数の方の申し込みが可能です。一人一枚で全員分同時にお申し込みいただくと割引対象となります。

【後期講座 (対面式) 留意事項】 ▼必ずお読みください。

各日の昼食代金は受講料に含まれます。ただし、昼食を希望しない場合の返金はいたしません。

【申込者】 ▼太枠内すべてご記入ください。細枠内は対象者のみご記入ください。(令和 年 月 日)

ふりがな		前期講座 (1コースにつき 11,000円)	コース①	コース②	コース③	コース④
氏名						
賛助会員	法人名 ()	後期講座 (1日につき 16,000円)	9/3	9/4	9/5	9/6
樹木医 登録番号						
自然再生士 登録番号		造園CPD 会員No. (12桁)				

受講料の振込票
貼付欄

- ★この太枠内に振込票の控えを貼付してください。
- ・受講料は前払いです。以下の計算式によりお支払いください。※割引の併用はできません。
○参加日数が計8日以上で1割引です。○賛助会員は参加日数に関係なく合計から2割引です。
前期 11,000円 × () コース + 後期 16,000円 × () 日 = 合計 () 円
 - ・振込票の控えをこちらに貼付するか、下記の表に必要な事項をご記入ください。
 - ・支払いに請求書が必要な場合は「総合講座事務局 (小田川)」までご連絡ください。

≪振込先≫

銀行		郵便局	
振込銀行名	三菱UFJ銀行 本店 (001)	口座記号	00190-6-588447
預金の種別	普通預金	口座番号	
口座名	受取人名カナ	加入者名	(一財)日本緑化センター
	受取人名	一般財団法人日本緑化センター	
	口座番号	通信欄	樹木と緑化の総合技術講座 受講料

★ネットバンキングをご利用の方・振込票を紛失された方は、下表にご記入ください。

振込名義									
振込日	令和			年			月		日
振込先	(<input type="checkbox"/> 三菱UFJ銀行 <input type="checkbox"/> 郵便振替) ←振り込んだ方を <input checked="" type="checkbox"/>								
振込金額									

領収書 ↓必要な方は必ず宛名をご記入ください。※宛名空欄での発行は致しません。

不要 必要 (宛名:)

【テキスト送付先】 ▼受講テキスト・配信URLの送付先となります (必要事項をすべてご記入ください)。

担当者名	() ←申込者と異なる場合にご記入ください。		
住所	(<input type="checkbox"/> 自宅・ <input type="checkbox"/> 勤務先)	勤務先名称: ()	
	〒	() 部・課まで	
TEL		FAX	
E-mail	(受講URL送信のため必須)		

【申込提出先・問い合わせ先】 ▼メール、FAXのほか、郵送も可とします。

(一財)日本緑化センター総合講座事務局 (小田川) 〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町1-2-29 K,I,Hビル2F
E-mail ; sougouk@jpgreen.or.jp、FAX ; 03-6457-5219 (到着確認の連絡はご遠慮ください)